

2019 年度 新入生アンケート 調査報告

2019 年 6 月

京都精華大学 教学グループ

2019 年度 新入生アンケート調査概要

1. 調査目的

新入生の入学段階での指向や学修状況を把握して、今後の本学の教育や学生支援の質向上を図るためのデータとして活用する。

2. 調査対象

2019 年度 4 月入学の学部生 897 名

※調査実施時点のシステム上在籍者

3. 調査期間

2019 年 4 月 3 日（水）9：00～4 月 20 日（土）※回答延長期間 2019/5/20（月）～6/8（土）

4. 調査方法

教学システム（セイカ・ポータル）の WEB アンケートフォームより実施

5. 回答者の構成比率

学部	学生数	回答者数	回答率	構成比率	回答者 構成比率
芸術	126	83	65.9%	14.0%	21.6%
デザイン	241	71	29.5%	26.9%	18.5%
マンガ	335	142	42.4%	37.3%	37.0%
ポピュラーカルチャー	66	25	37.9%	7.4%	6.5%
人文	129	63	48.8%	14.4%	16.4%
全体	897	384	42.8%	100.0%	100.0%

	2019	2018	2017
対象者数	897	753	676
回答者数	384	247	443
回答率	42.8%	32.8%	65.5%

2019 年度 新入生アンケート 集計結果

質問1 本学を知ったきっかけを教えてください

「高校・塾・日本語学校の先生から聞いて」が最も多く、次いで「京都精華大学のホームページ」、「親族から聞いて」の順。その他の回答は、

「インターネット検索で探した」

「高校での大学説明会」

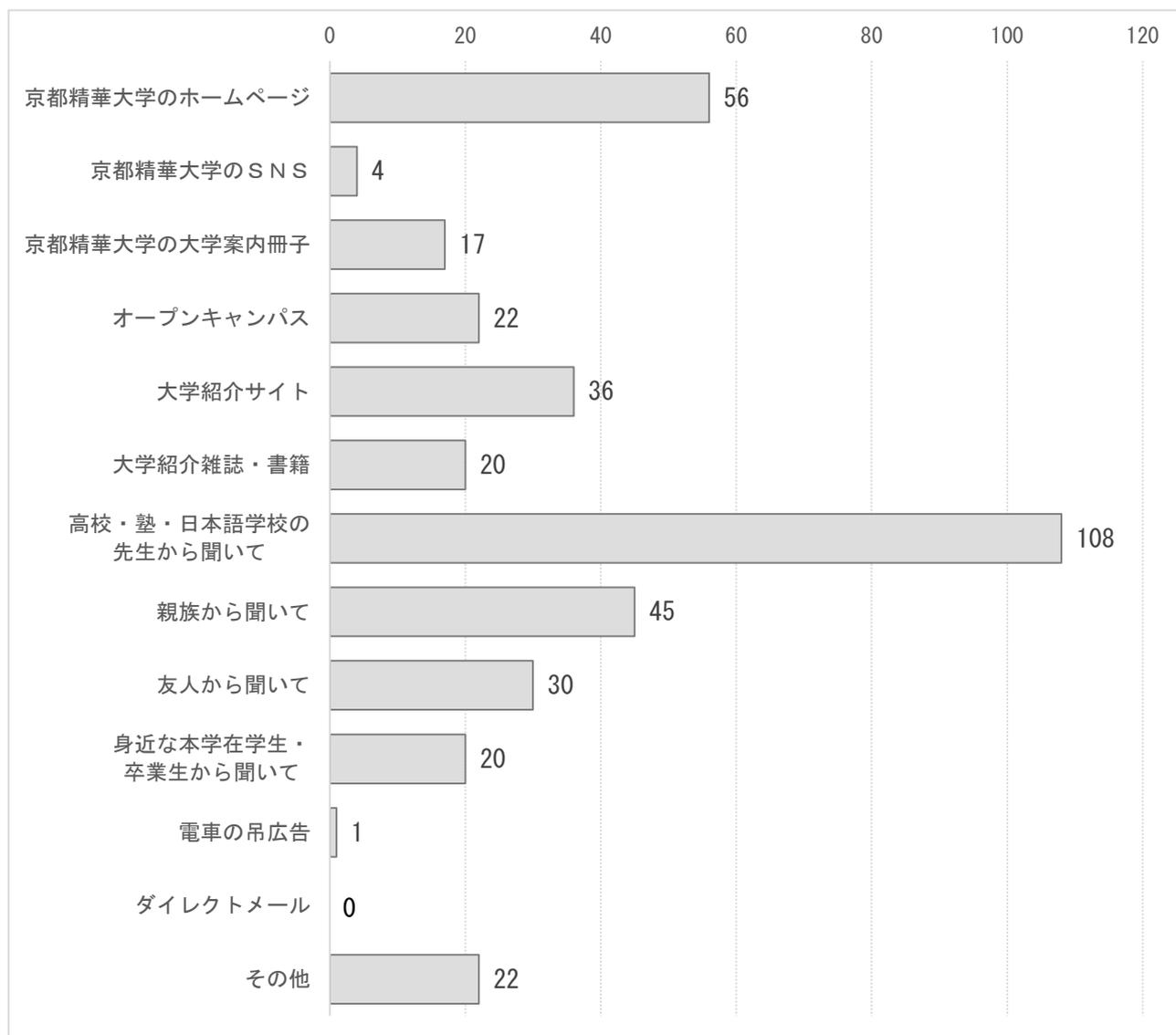
「中学時の大学体験授業」

「昔大学のイベントに参加した」

「京都にあったから」

「好きな作家の母校として紹介されていた」

などがあつた。



質問2 本学を志望したのはいつ頃でしたか

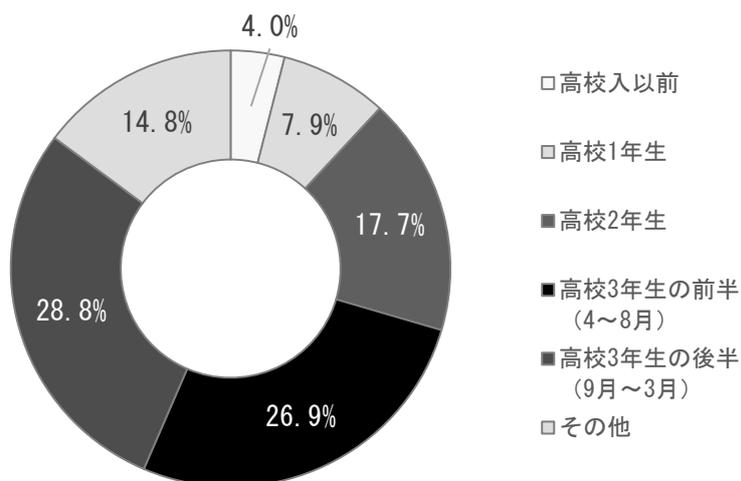
「高校3年生の後半」が、最多であった。次いで、「高校3年生の前半」「高校2年生」の順。その他の回答は、

「高校卒業後」「浪人中」

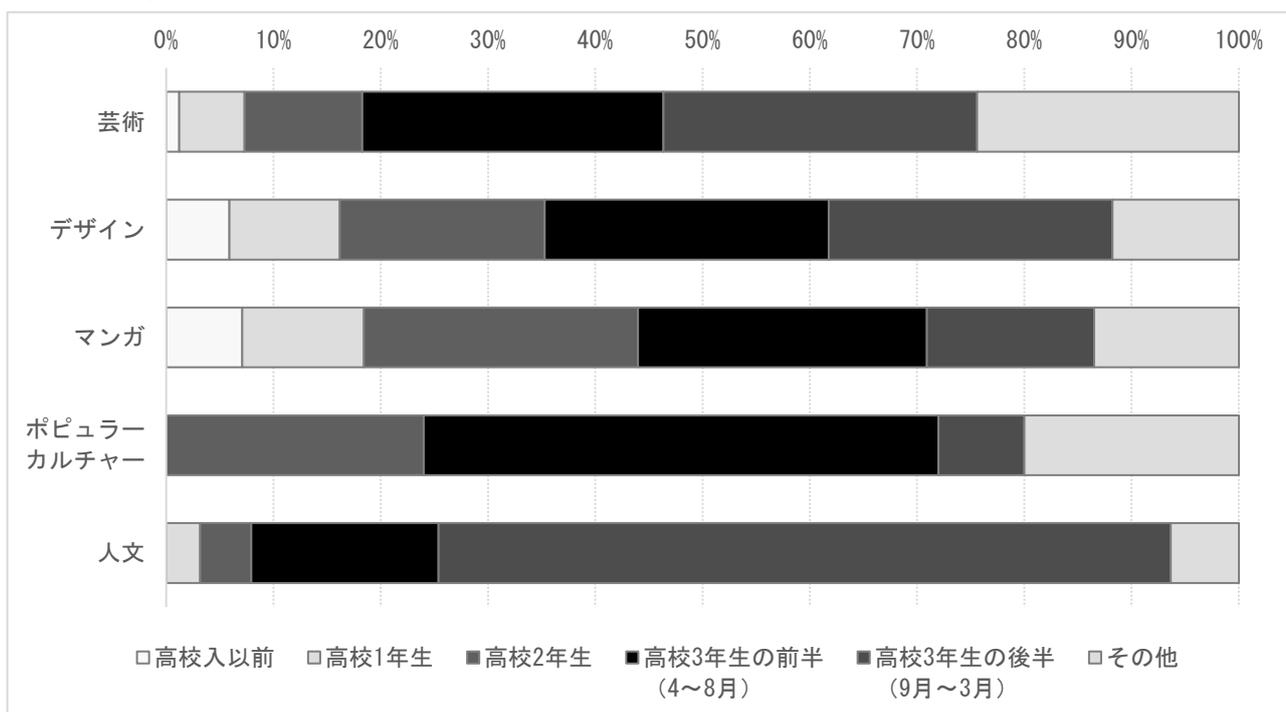
「日本語学校時」「日本へ留学するとき」

「小学生時」「中学生時」「専門学校時」「他大学にいる時」

などがあつた。



以下は、学部別回答



質問3 本学に入学した一番の理由を教えてください

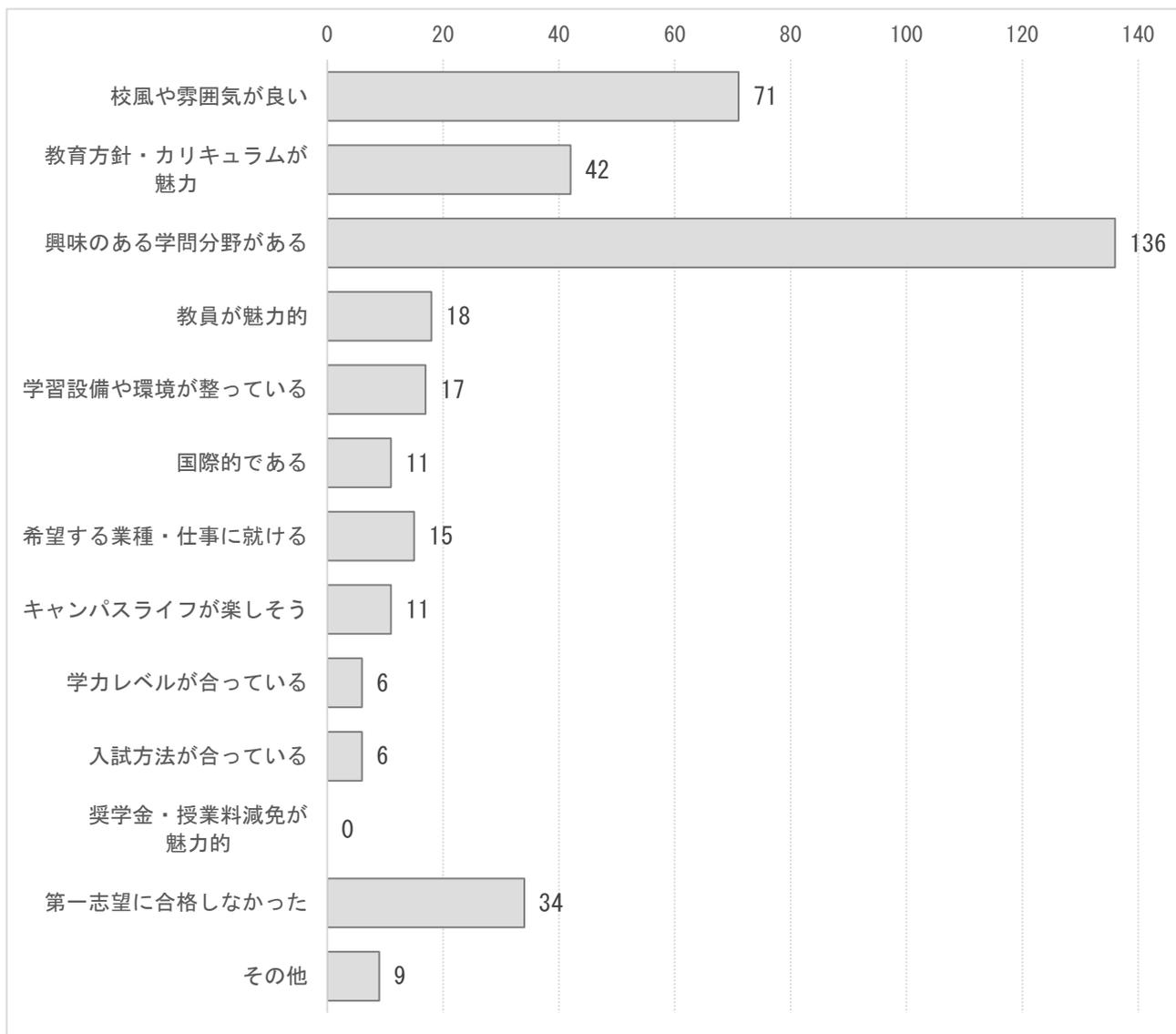
「興味のある学問分野がある」が最も多く、次いで「校風や雰囲気が良い」、「教育方針・カリキュラムが魅力」の順。昨年度同様であった。その他の回答は、

「好きな作家が沢山卒業している」

「孔雀を飼っている周辺景色が良い」

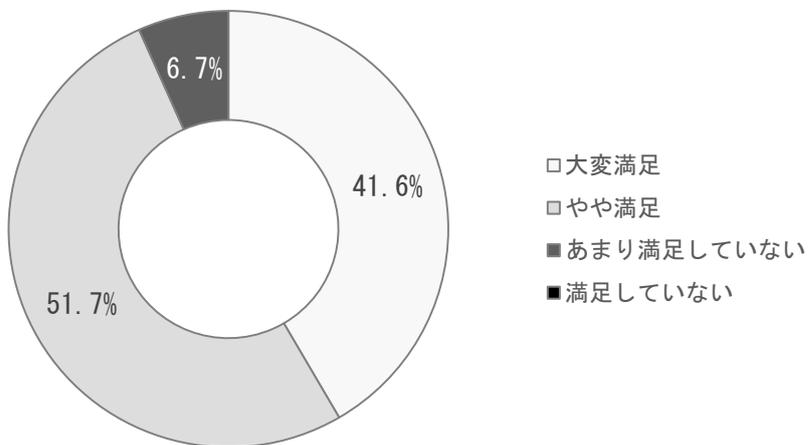
「自由」

などがあった。

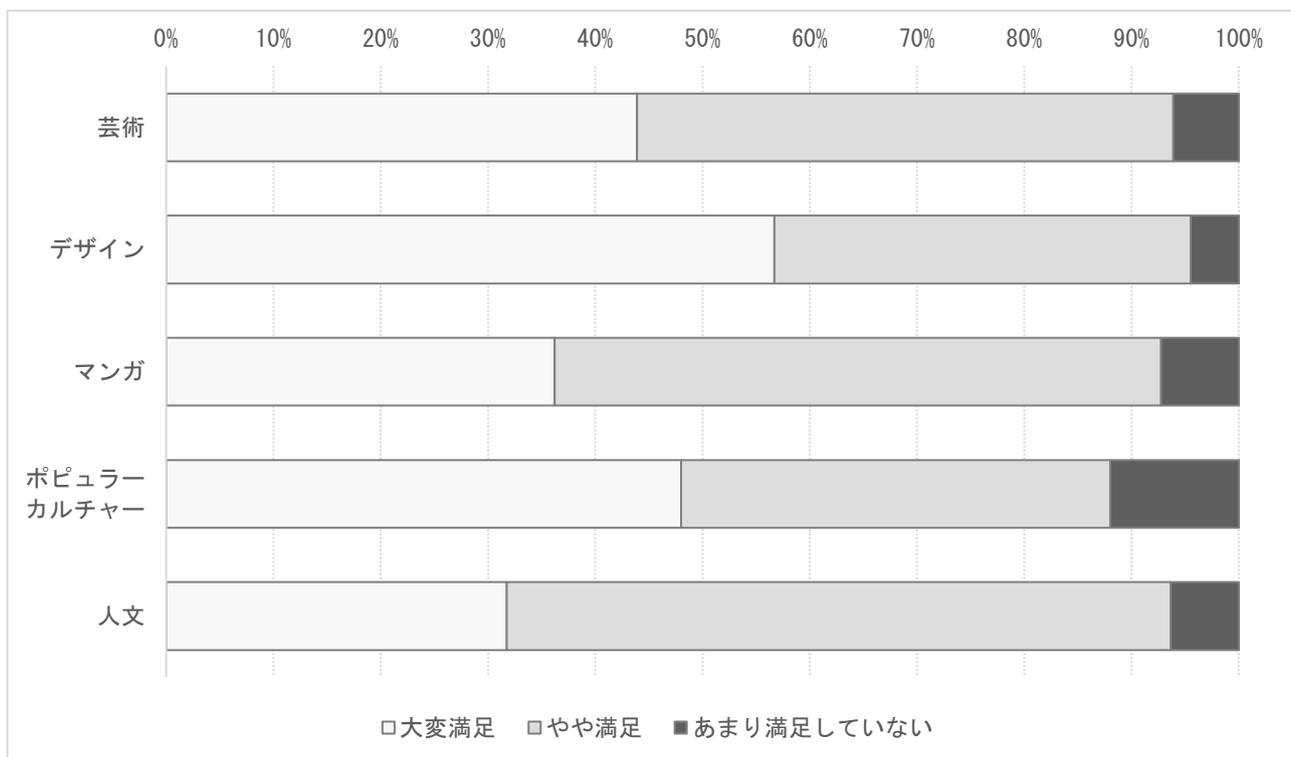


質問4 本学に入学し、現在満足していますか

93.3%が「満足」と回答。学部別に見るとポピュラーカルチャー学部の満足度が、90%を下回っている。



以下は、学部別回答



質問5 本学にどのようなイメージを持っていますか（13個まで選択可能）

「自分の趣味や可能性が上げられる」が最多で、次いで「校風や雰囲気が良い」「専門分野が深く学べる」の順。その他の回答は、

「教員が気軽に相談に乗ってくれる」

「孔雀や鯉などの生き物がいる」

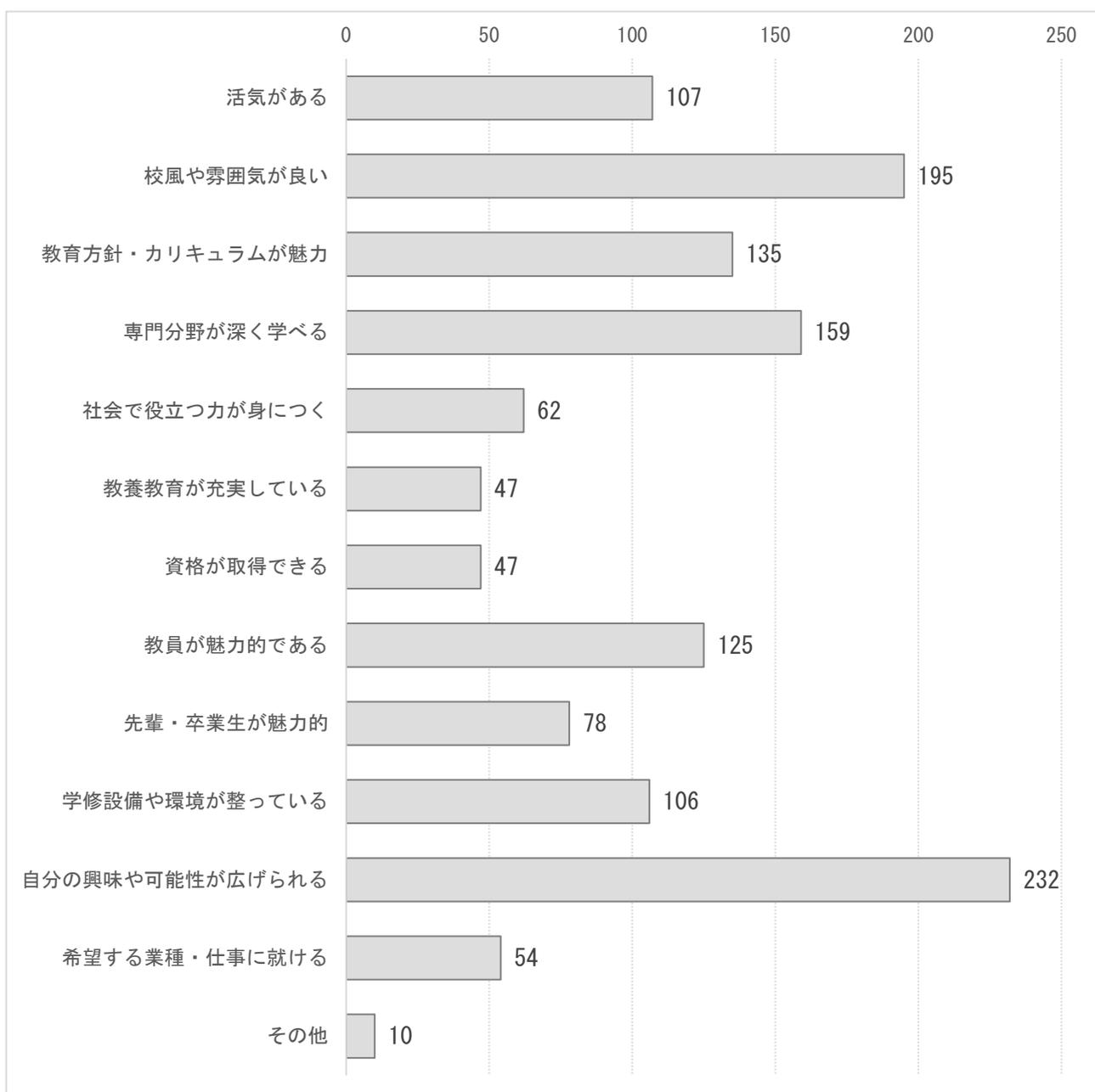
「自由」

「情報保障支援がある」

「マナーが悪い」

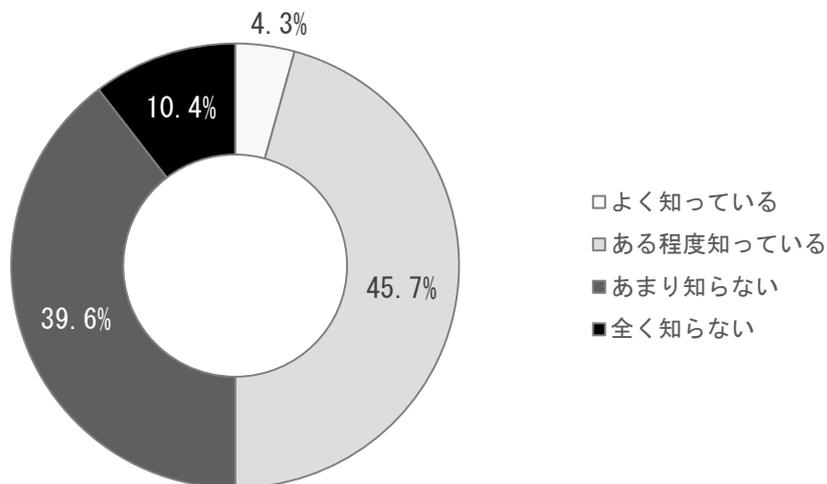
「疲れる」

などがあった。

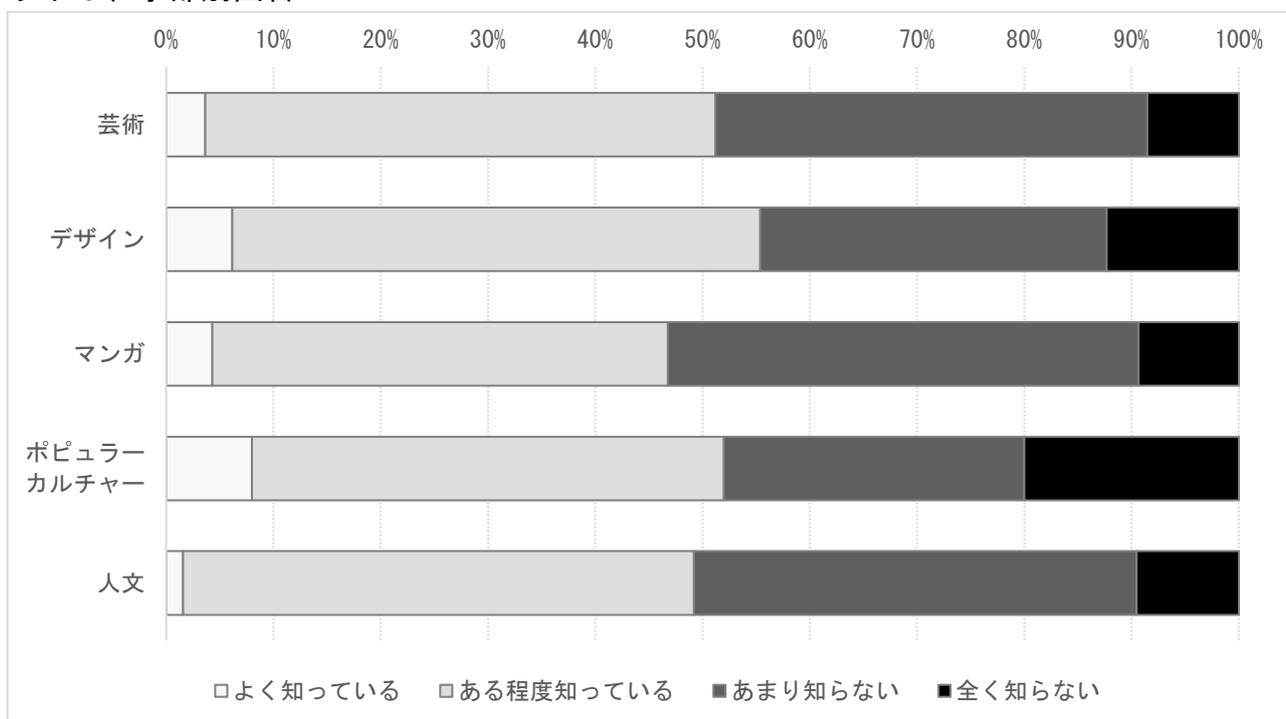


質問6 本学の建学の理念や歴史についてどのくらい知っていますか

「知っている」と回答した学生は、50.0%であった。学部別に見ても認知度について大きなばらつきはなかった。

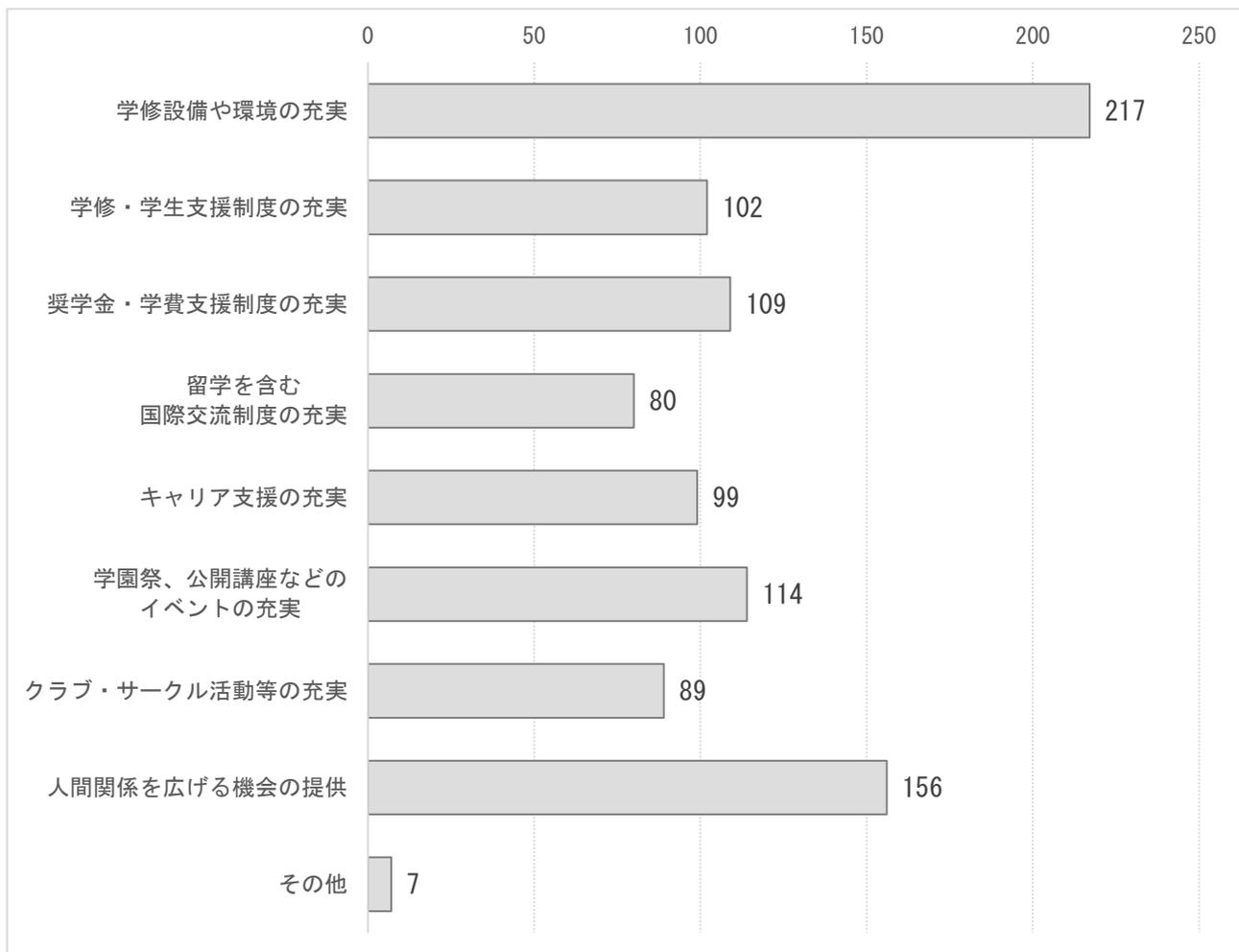


以下は、学部別回答



質問7 授業以外で大学に期待することは何ですか（9個まで選択可能）

「学修設備や環境の充実」が最も多く、次いで「人間関係を広げる機会の提供」「学園祭、公開講座などのイベントの充実」の順。



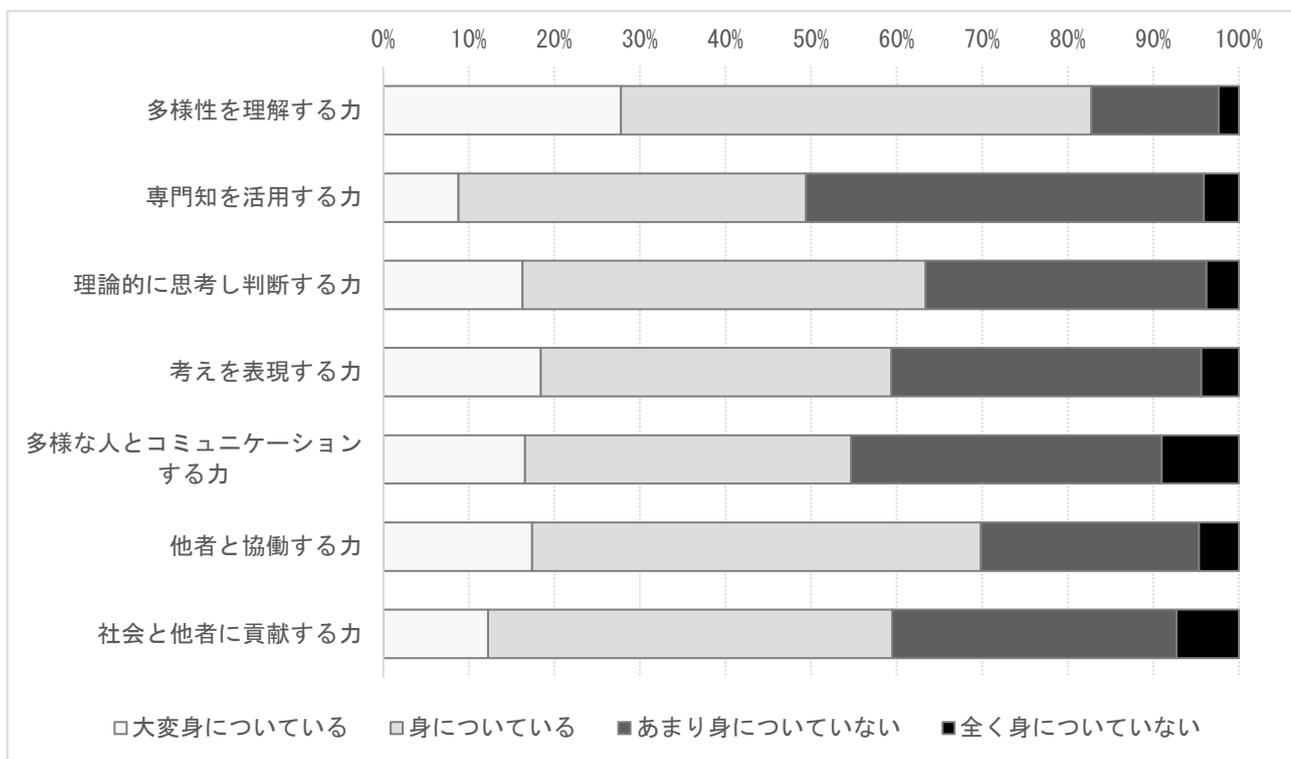
質問8 自学部・自コースへ期待することは何ですか（自由記述）

※回答は学内会議にて共有

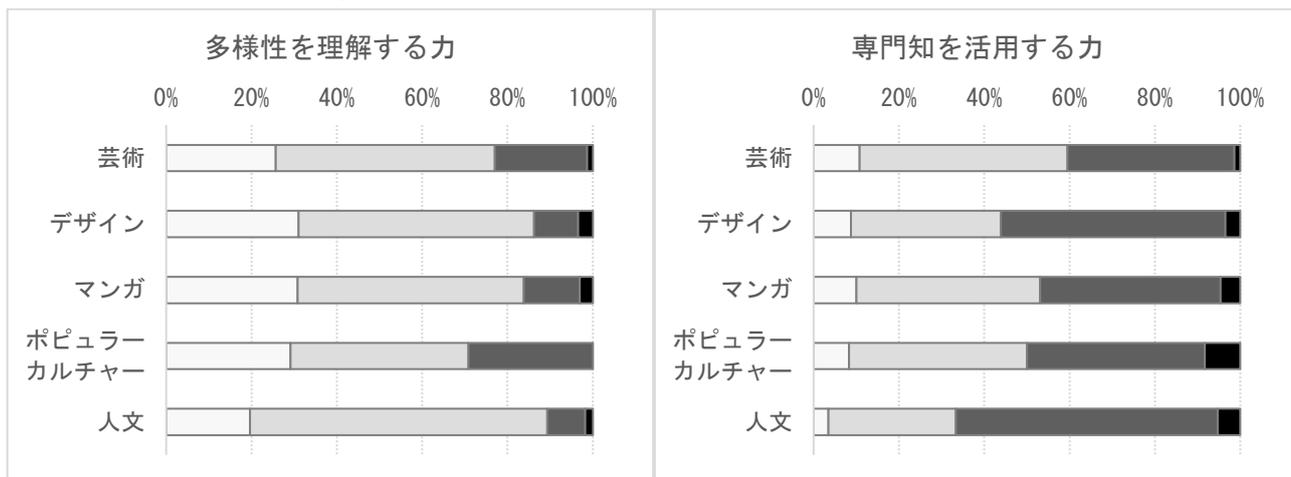
質問9 今の自分の能力について教えてください

身につけているとの回答は、「多様性を理解する力」が82.7%と一番多く、次いで「他者と協働する力」であった。

学部別にみると、「身につけている」「身につけていない」との回答の開きが最大20%以上ある項目がある。

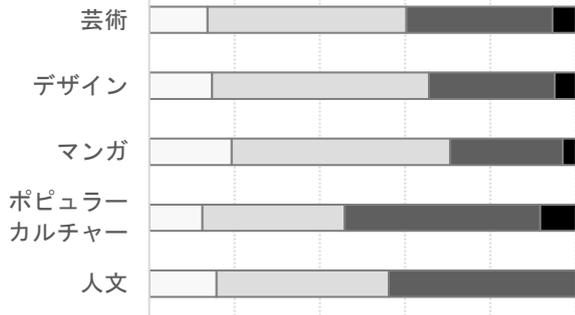


以下は、各項目の学部別回答



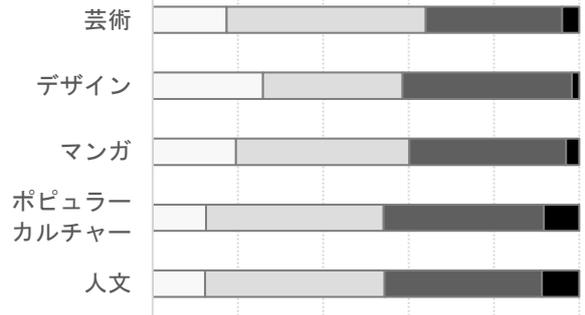
理論的に思考し判断する力

0% 20% 40% 60% 80% 100%



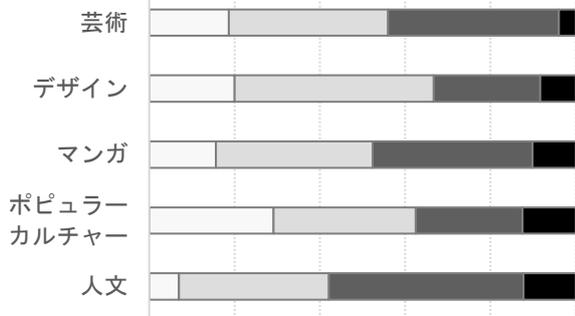
考えを表現する力

0% 20% 40% 60% 80% 100%



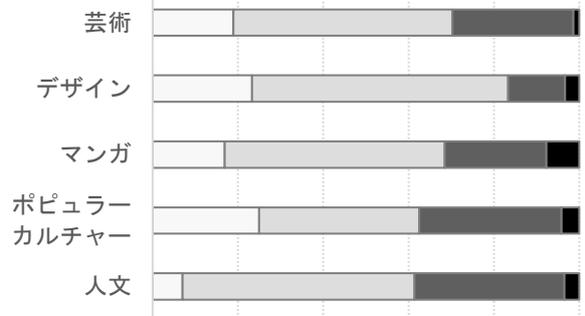
多様な人とコミュニケーションする力

0% 20% 40% 60% 80% 100%



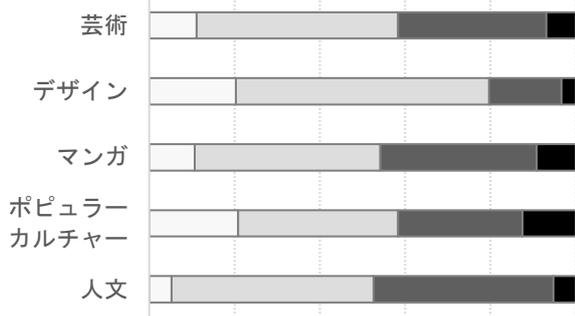
他者と協働する力

0% 20% 40% 60% 80% 100%



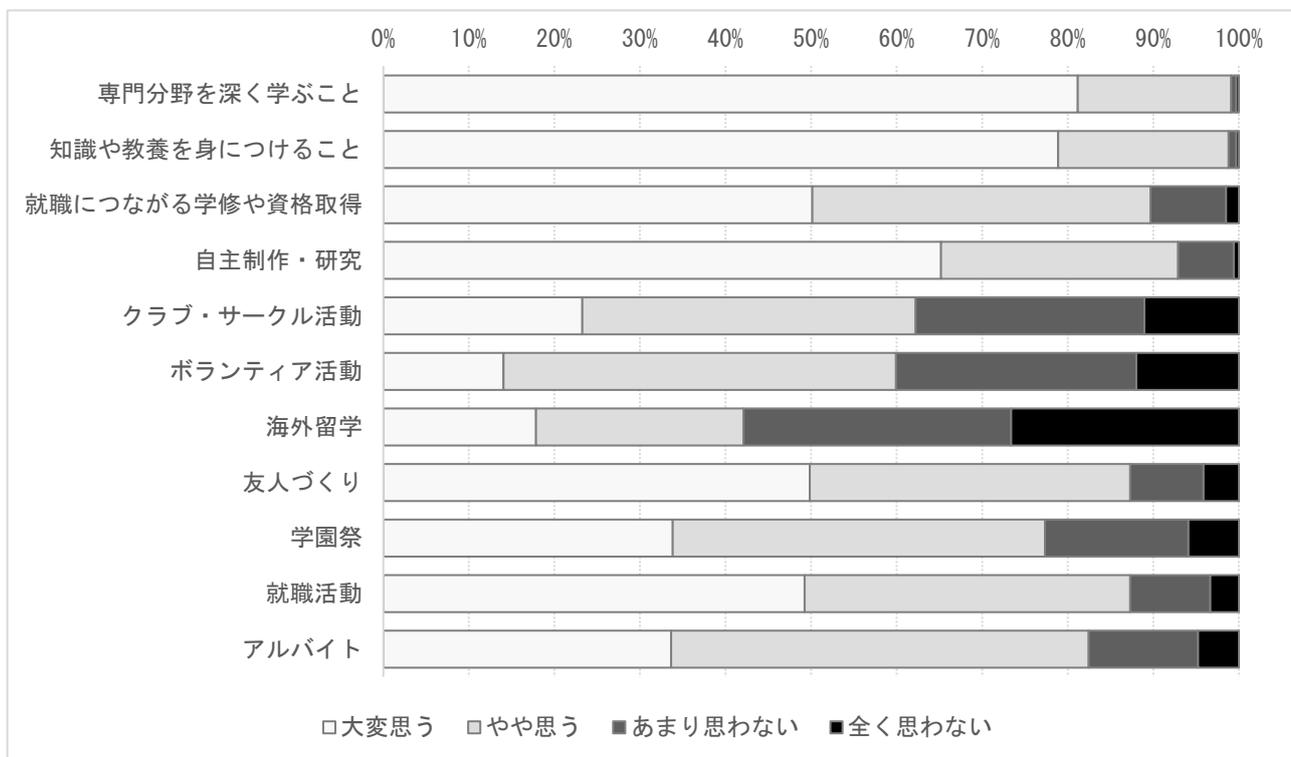
社会と他者に貢献する力

0% 20% 40% 60% 80% 100%

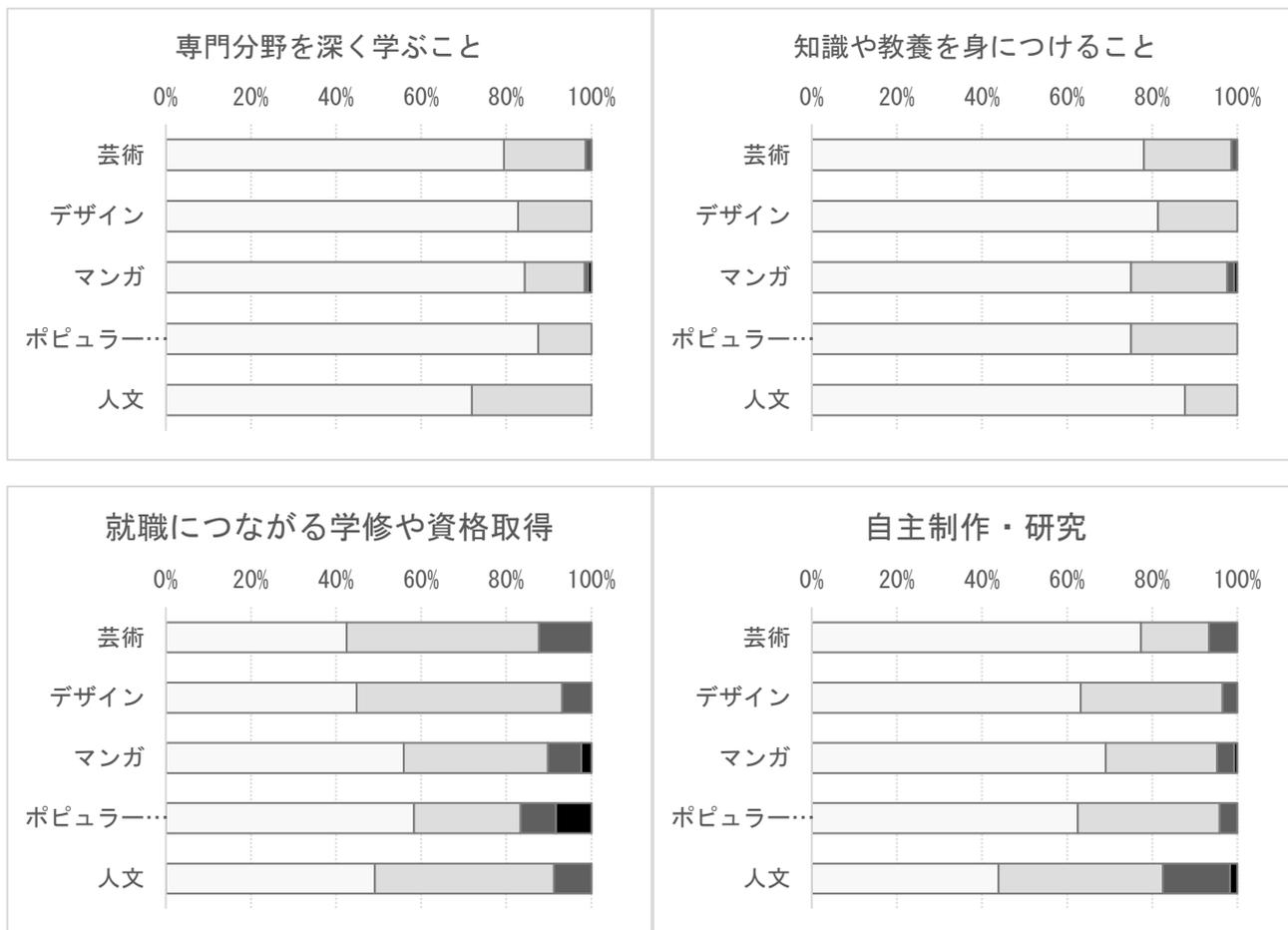


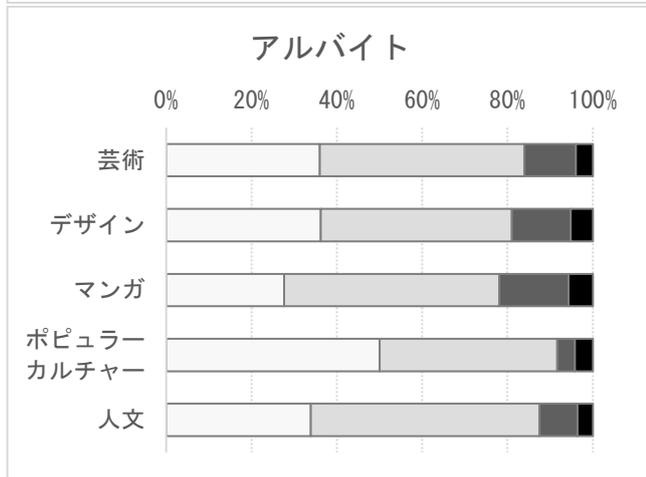
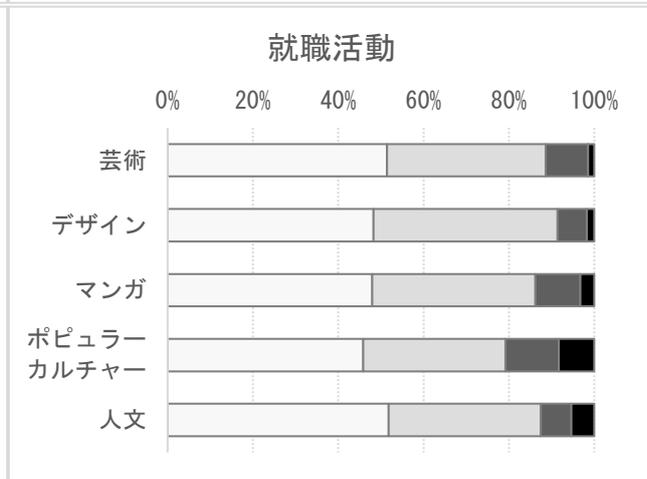
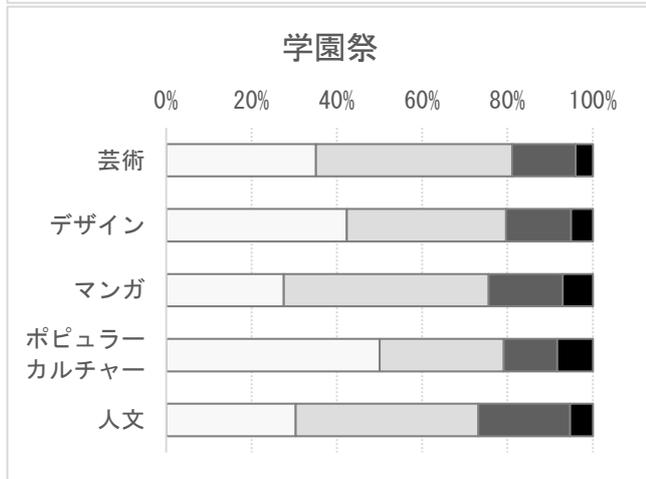
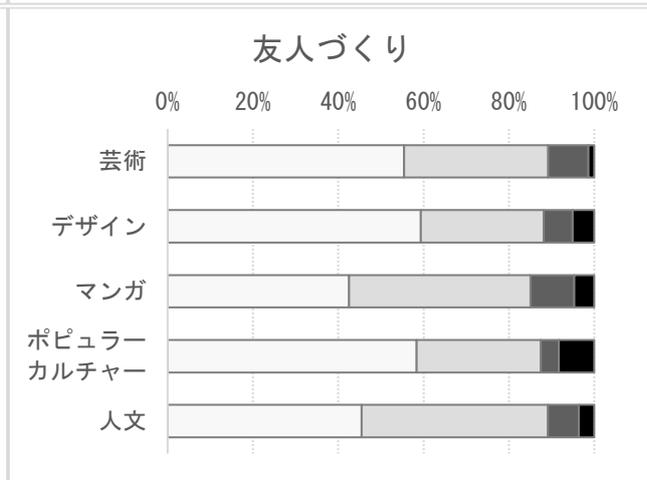
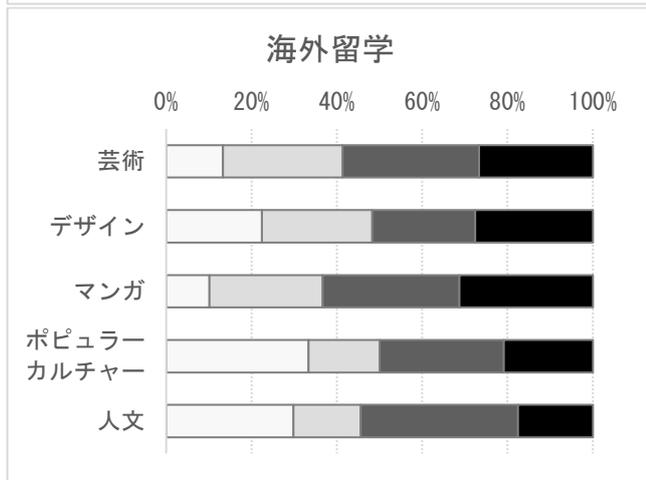
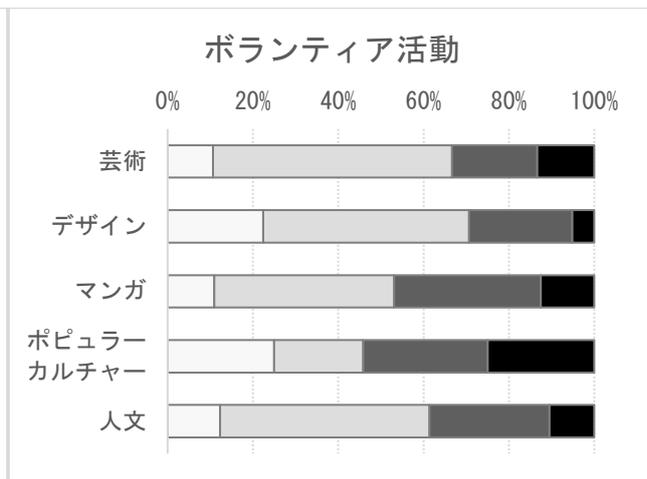
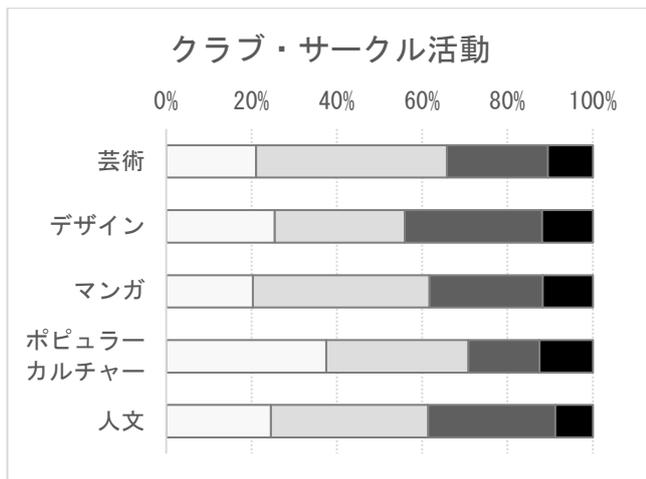
質問 10 次の項目について、力を入れたいことについて教えてください

「専門分野を深く学ぶこと」「知識や教養を身につけること」は99%とほぼ全員が身につけたいと考えている。「クラブ・サークル活動」「ボランティア活動」「海外留学」については他の項目と比べると低い。



以下は、各項目の学部別回答



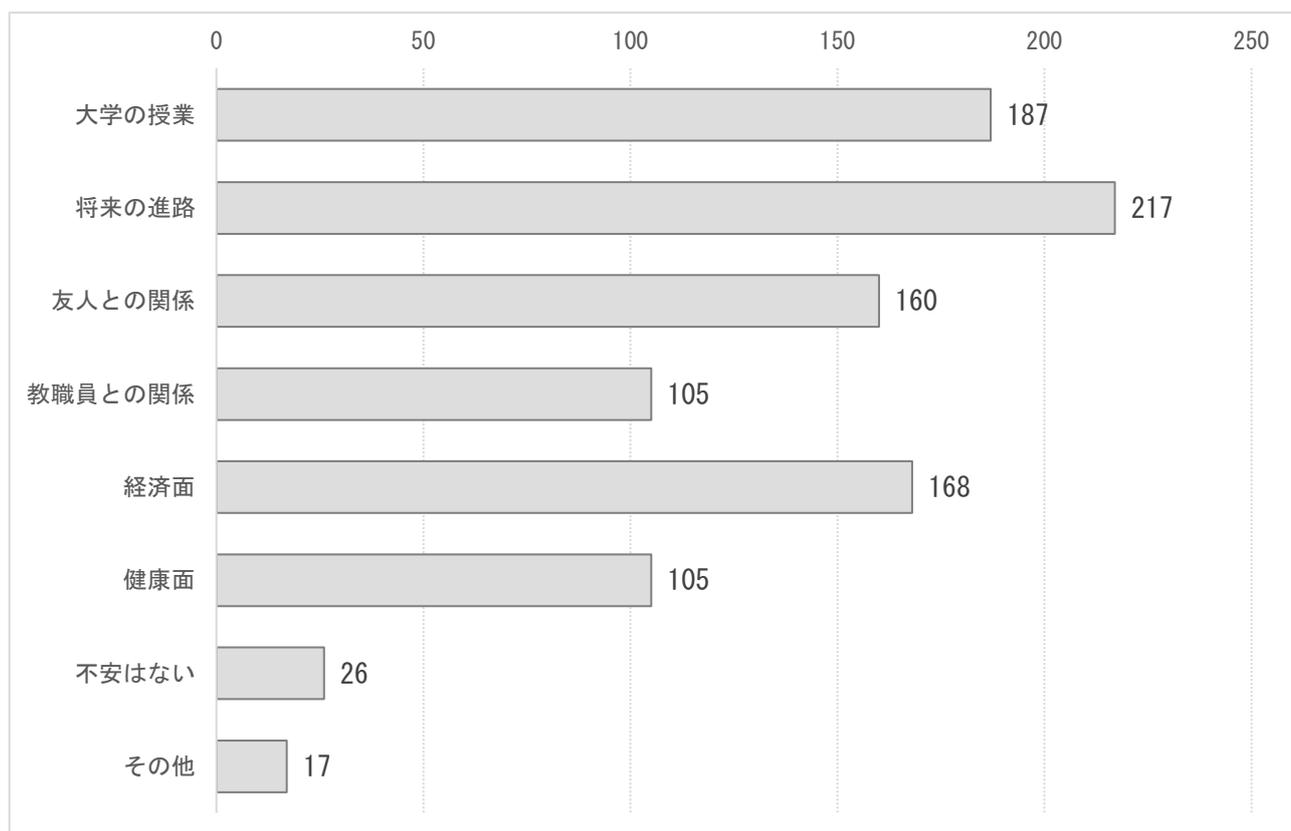


質問 11 入学にあたり不安に思っていることを教えてください（8個まで選択可能）

「将来の進路」が最も多く、次いで「大学の授業」「経済面」の順。昨年度は、「将来の進路」「大学の授業」「友人との関係」の順であった。

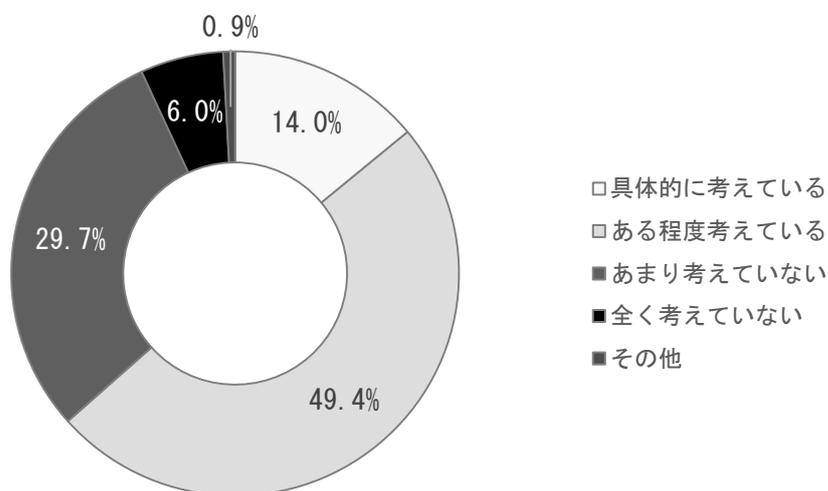
その他の回答内容は、

「日本語能力」「発達障害」「自身の精神面」「絵の実力」「レポート」「バイトとの両立」などがあつた。

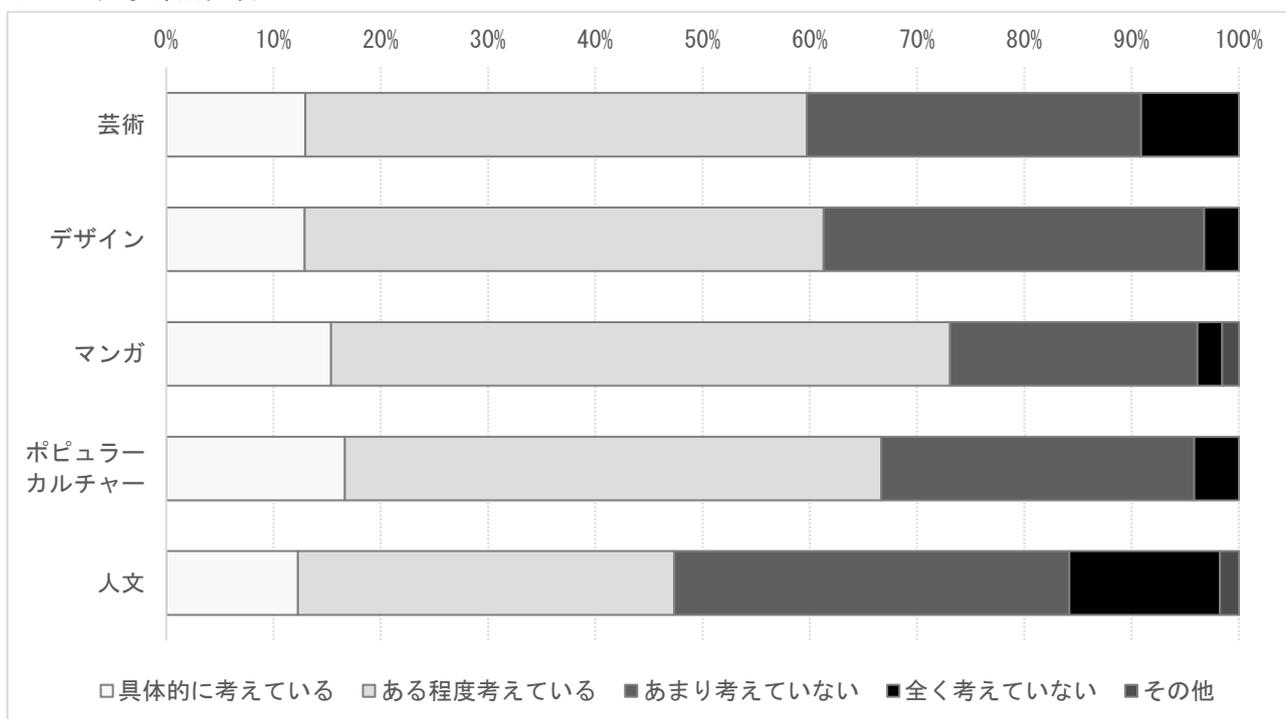


質問 12 卒業後の進路について、現在どのくらい考えていますか

「具体的に考えている」「ある程度考えている」と回答した学生は 63.4%であった。
 学部別に見ると、「考えている」と答えた割合が高いのが、マンガ学部で 73.1%。低かったのが、人文
 学部で 47.4%であった。

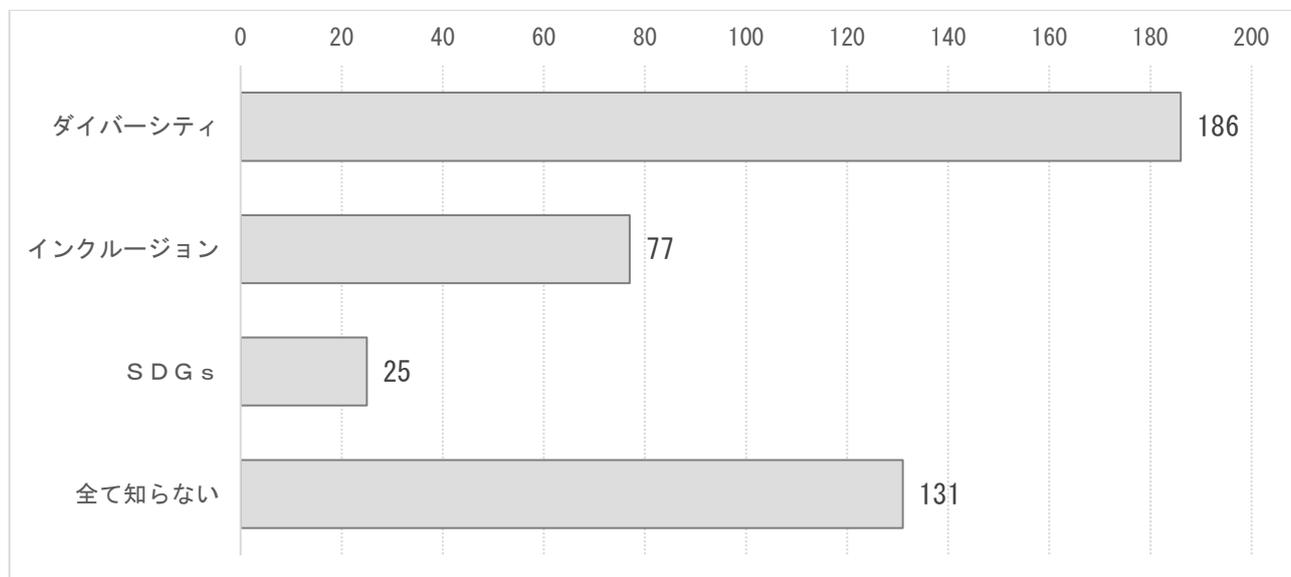


以下は、学部別回答



質問 13 以下の言葉のうち、知っているもの全てにチェックを入れてください

回答者構成比をみると「ダイバーシティ」を選択した人が 53.3%。「全て知らない」を選択した人が 37.5%であった。今後、ダイバーシティ推進センターを含め、認知度を上げる取組が必要と思われる。



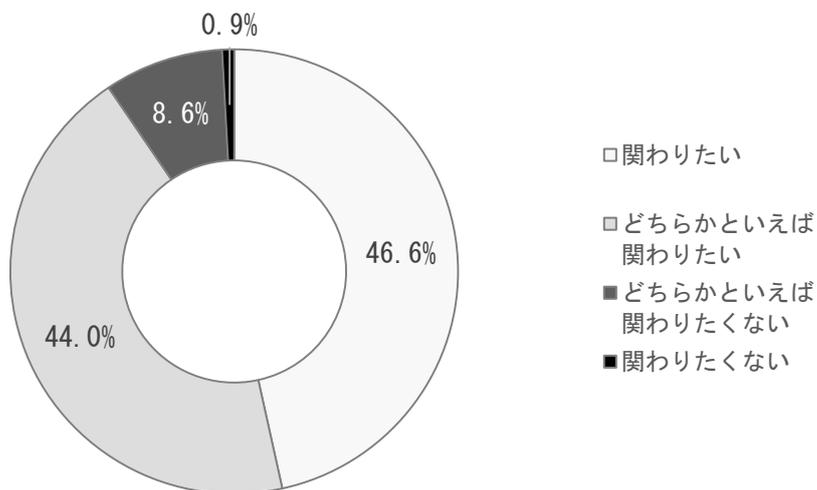
※「ダイバーシティ」…多様なバックグラウンドや属性を持つ人が集まること

「インクルージョン」…多様な人々が対等に関わり合うこと

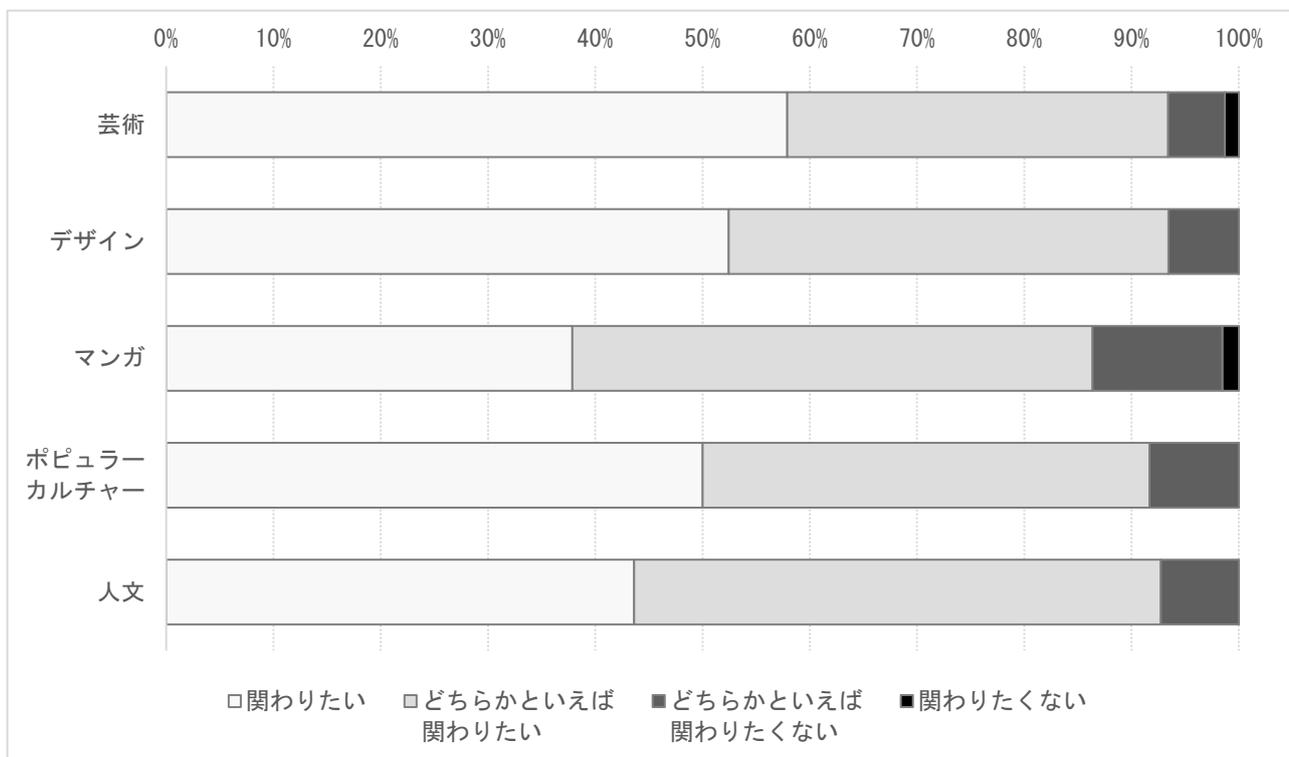
「SDGs」…世界共通の 2030 年までの継続可能な開発目標

質問 14 自分と異なる文化や価値観、属性（国籍、ジェンダー、宗教など）を持つ人と関わることについて、あなたの感覚と最も近いものを1つ選んでください

90.6%が「関わりたい」と回答。学部別回答の割合をみると、マンガ学部のみ「関わりたい」との回答が90%を下回っている。

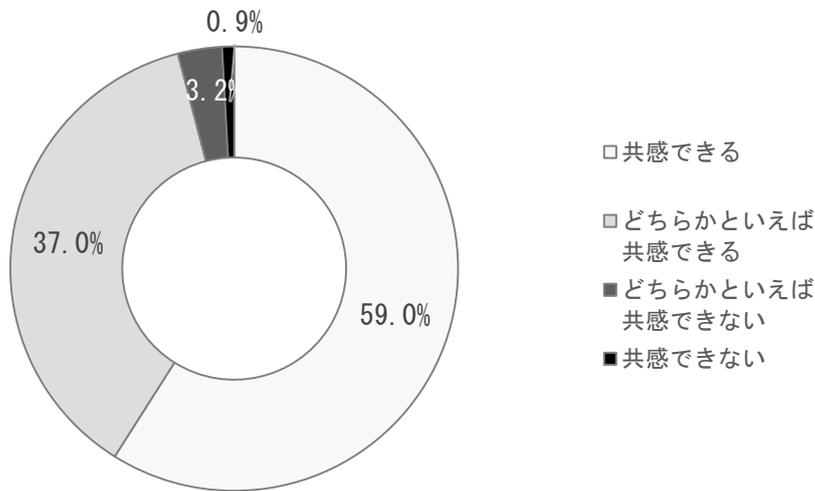


以下は、学部別回答



質問 15 京都精華大学が、ダイバーシティ推進の取組を進め、多様な人々が対等に関わり合い、お互いに成長できる場を目指すことについて、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください

96%が「共感できる」と回答。学部別回答を見ても、「共感できる」の回答の割合に大きな差はない。



以下は、学部別回答

